ニューリー

業界初！パッケージ印刷　抜き取り検査装置決定版

業界最速処理で高解像検出

蒸着紙、クリア・パッケージ対応

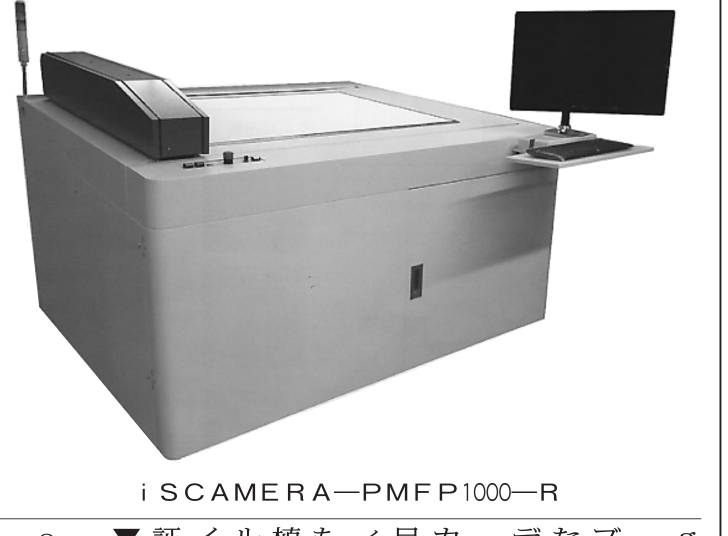
ニューリー㈱（本社：京都府久世郡久御山町佐古外屋敷125、代表取締役社長：新井慎也氏）は、オフセット印刷における印刷紙面検査において、従来オフライン検査で求められてきた蒸着紙、クリア・パッケージ用途の高精度の抜き取り検査に対応できる業界待望の決定版検査装置を新開発し販売を開始した。

同社は、スキャナー／各種検査装置のメーカーとして、軟包装グラビア印刷業界では世界で唯一のグラビア製版用の検査装置を独自開発、現在、同業界ではなくてはならない検査装置として高い評価を得ている。

今回は、オフセット印刷業界向けの欠点検出の検査として、従来難しいとされてきた光沢面を持つ蒸着紙、および透明パッケージ個包装容器の印刷検査向けに「iSCAMERA―PMFP1000―R」を新開発し、販売を開始した。

この「iSCAMERA―PMFP1000―R」は、「業界最速処理、高解像検出、蒸着紙、クリア・パッケージ、非接触ウェット紙対応の検査機」として他にはない特長を備えた待望の決定版で、販売価格は1300万円（税別）となっている。

【問い合わせ】
ニューリー㈱営業部＝京都府久世郡美山町佐古外屋敷125


iSCAMERA―PMFP1000―R

コダック

持続可能な印刷業界で拡大

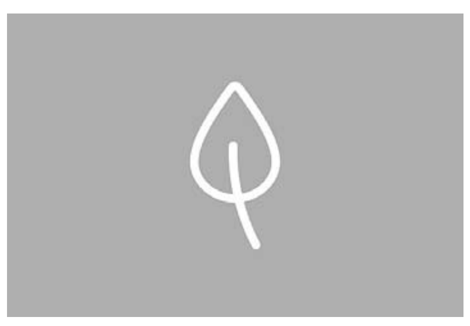
環境負荷軽減に実績　ある企業14社を表彰

コダック ジャパンは1月22日、「2017年度SONORA Plate Green Leaf Award」の受賞企業14社を発表した。受賞企業数は前年度よりほぼ倍増した。

今回で4回目となるこの賞は、グローバルリーダーとして持続可能な印刷ソリューションを推進するコダックが、製品、サービス、運用で環境負荷軽減に取り組み、特に優れた実績をあげている顧客を表彰するもの。

【2017年度SONORA Plate Green Leaf Awardの受賞企業】

㈱アスコン（日本）／Alcom Printing（米国）／Mitchell Press Ltd.（カナダ）／Druckerei Lokay（ドイツ）／School Lane Colour Press（イギリス）／Litotec（エクアドル）／Cartocor S.A.（アルゼンチン）／Southern Colour Print（ニュージーランド）／Colour King（南アフリカ）／ZÜhal Ofset（トルコ）／Hongbo Co. Ltd.（中国）／Golden Cup Printing Co. Ltd.（中国）／Changsung P&T（韓国）／Vivar Printing Sdn Bhd（マレーシア）。


2017年度SONORA Plate Green Leaf Award

各社ともKODAK SONORAプロセスフリープレートを採用しており、それぞれの市場で他社に先駆けて環境負荷を軽減する技術を取り入れて実績をあげている。

その他の評価ポイントとしては、廃棄物管理から先進的なトレーニングおよびコンプライアンスプログラムによって、幅広い省エネ対策、資源管理対策を整備したことなどが挙げられ、また多くの企業は国内および地域社会のサステナビリティープログラムを支援した功績がある。

イーストマン・コダック社バイスプレジデント プリントシステムズ事業部ワールドワイドセールスゼネラルマネージャーのリチャード・リンド氏は、受賞した14社の顧客を誇りに思うとして次のように述べた。「印刷業界で持続可能なビジネスソリューションを採用することは、環境保護に役立つだけでなく、印刷会社様のビジネスの持続可能性と成長を促進していることも明らかです。SONORAプレートの導入は、環境にやさしい材料を採用し、クリーンで健全なビジネス環境を管理するための長期的な取り組みのひとつのステップです」。

この賞の名前は、品質や生産量を落とさずに環境・経済の両面で大きなメリットをもたらすことで定評があるKODAK SONORAプロセスフリープレートにちなんでつけられた。薬品や水のほかにもエネルギーを使用し、廃棄物も出す自現機での処理工程は、SONORAプレートでは一切不要。SONORAプレートの2017年の販売量は、クリーンな印刷ソリューションを求める業界動向と並行する形で伸びた。

近年、環境・経済両面のサステナビリティーを投資戦略の中核に据える印刷会社は増加の一途をたどっている。コダックはこのトレンドが今後も続くと見ており、2019年までにコダックのプレート販売量の30％がプロセスフリープレートになると予測している。

【受賞企業紹介】

▼㈱アスコン（日本）

チラシ・ダイレクトメールの印刷から店舗演出用販促ツールの制作、タウン情報誌の出版、Web・映像制作、クロスメディアまで幅広い事業を展開している。印刷機脱臭装置の触媒を定期的に監視、測定、交換することによって悪臭防止に努め、また工場のコンプレッサーをインバーター制御装置を備えた新しい機械に交換することによって電力消費量を削減するなど、革新的な措置をとっている。また理想的なSONORAプレート採用企業として、コダックが全世界で展開している「Print for Good」プログラムにおいても、自社の取り組みを紹介している。

▼Alcom Printing（米国）

印刷、ダイレクトメールマーケティング、ビジネス開発ソリューションなど、統合ソリューションを提供している。施設全体における制御付きLED照明への転換、印刷プロダクションや全体的運営で使用されるほぼすべての材料のリサイクル、完全省エネのITインフラストラクチャを整備するなど、継続的な改善を目指すプロジェクトに注力している。

▼Cartocor S.A.（アルゼンチン）

チリとアルゼンチンでリサイクル材料を使用した段ボールパッケージ製品の製造と印刷を行う企業。材料は持続可能な方法で調達し、長期にわたってさまざまな形で使用している。

環境戦略を整備しており、定期的にパフォーマンス測定、リサイクル、エネルギー・水消費の監視を実行し、年間を通じてのパフォーマンス管理システムで持続可能性についての成果をレポートしている。

▼CHANGSUNG P&T（韓国）

エネルギー使用の監視、省エネ機器へのアップグレード、積極的な節電計画の作成を行っている。また環境にやさしい接着剤とトナーを使用、四半期ごとに環境保護対策を議論する会議を開いている。工場では遠赤外線放射パネルとLED照明を使用している。

▼ZÜhal Ofset（トルコ）

1967年、文房具メーカーとして創立され、現在ではトルコの製薬業界のパッケージングおよび商業印刷に携わっている。ここ数年の間に、より持続可能な印刷業務の運営のために多くの措置をとっている。

紙、インキ、プレートをリサイクルし、印刷の現場では持続可能なインキと溶剤を採用している。トルコの印刷業界における環境保護のリーダーとして、顧客とパートナーに対し、環境にやさしい印刷技術の使用を推進している。

▼Colour King（南アフリカ）

25年以上前にヨハネスブルクCBDに設立された高品質のリソグラフ、デジタル印刷会社。

紙だけでなく、インクカートリッジ、電子部品、プラスチック、オフィスコンピューターなども幅広くリサイクルし、植物性インキ、アルコール分の少ない薬品、リサイクル紙、FSC森林認証紙を使用している。

▼Golden Cup Printing Co. Ltd.（中国）

大型の高級装丁本、児童書、教科書、地図帳、カタログ、カレンダー、グリーティングカードなどを得意とする印刷会社。紙くず、プレート、CD、潤滑油・オイル、バッテリー、フィルム、インキなど、さまざまな材料をリサイクルしている。また消火・清掃目的で雨水を貯蔵して水資源を確保している。

4000以上の省エネ蛍光管・蛍光灯、太陽光発電暖房、省エネ型8色印刷機を導入し、HVACシステムに中央真空ポンプを取り付けている。

▼HONGBO Co. Ltd.（中国）

主として商業手形の印刷に携わる中国企業。幅広いリサイクルプログラムを確立し、植物性インキやノンアルコール溶剤などの環境にやさしい印刷材料を使用している。

定期的トレーニング、監視活動、目標達成に向けた改善により、省エネと二酸化炭素排出量削減に尽力している。

▼Litotec（エクアドル）

ラベル、段ボール、マイクロフルートによるパッケージ材料のオフセット印刷会社。材料・水・電力の使用の厳格な監視に加え、ウェブサイトできわめて透明性の高い情報を公開している。

▼Mitchell Press Ltd.（カナダ）

バンクーバーに拠点を置く高速、高品質の商業印刷会社。紙、インキ、段ボール、木材、プラスチックなどの幅広い材料をリサイクルしている。

またクライアントが環境フットプリント、紙の使用量、流通、運送データを追跡する取り組みを支援するためのプロジェクトにおいて、重要なデータを収集している。先進のHVAC、ITシステムを備えることで省エネを推進し、慈善団体に電化製品などの資材を寄付している。

▼School Lane Colour Press（イギリス）

サービス主導型の先進的な商業印刷会社。

社内に加工設備と保管倉庫を備え、トータルな印刷サービスを提供している。パッケージング紙、薬品、プレート、電子部品をリサイクルし、植物性インキとノンアルコール溶剤を使用している。

また会社では低公害車を使用し、太陽光発電の印刷機からもたらされる熱を工場の暖房に役立てている。

▼Druckerei Lokay（ドイツ）

ラインハイムに拠点を置く商業印刷会社。環境にやさしい技術と施設のエコロジー化に数百万ユーロを投資してきた。生産工場は世界で最も持続可能性の高い工場のひとつ。カーボンニュートラルな印刷を提供し、2012年以来、二酸化炭素総排出量を62％削減した。

環境にやさしい印刷材料を使用し、ほぼすべての材料廃棄物をリサイクルし、従業員には自転車を提供している。

▼Southern Colour Print（ニュージーランド）

ニュージーランド内外でセキュリティー保護の必要な印刷市場並びにセキュリティー保護の不要な印刷市場の双方にサービスを提供している。

高品質の郵便切手、visaラベル、試験問題用紙、その他のセキュリティー保護が必要な出版物などの生産で世界的に著名。紙、プレート、プラスチックをリサイクルし、植物性インキ、ノンアルコール溶剤、サステナブルなリサイクル紙を使用している。

▼Vivar Printing Sdn Bhd（マレーシア）

あらゆる種類の本の印刷、製本、加工、物流サポートを行う近代的な印刷会社。

印刷工場では、植物性インキ、ノンアルコール溶剤、サステナブルなリサイクル材料を使用し、印刷の損紙を本印刷前に最大5回まで再利用することで、四半期ごとに数トンの紙を節約している。

またMalaysian Nature Society、ECOKNIGHTS、Malaysian Eco NGO's(MENGO)など国内のさまざまな環境保護プログラムに積極的に参加している。

NII

研究に関する国際交流協定が100機関に

27カ国・地域の大学、研究機関と締結

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所（住所：東京都千代田区、所長：喜連川優氏、以下・NII）の研究協力に関する国際交流協定（MOU＝Memorandum of Understanding）の締結機関が、1月18日付で締結したキング・アブドゥラ科学技術大学（King Abdullah University of Science and Technology＝KAUST、サウジアラビア）で100機関となった。

NIIは国際交流を組織的かつ積極的に推進するため、海外の大学や研究機関とのMOU締結を進めており、締結先はアジア、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニア、アフリカ州の計27カ国・地域に及ぶ。また研究協力に関するMOUに加えて、事業協力に関するMOUも5カ国・地域の9機関と締結している。

NIIはMOU締結機関（注1）との間の研究者や学生の派遣、招へいを促進するため「NII国際インターンシッププログラム」（注2）や「MOU Grant」（研究交流助成プログラム）（注3）の制度を設けて財政的な支援を行っている。

また研究者や学生の交流だけでなく、国際的な共同研究の実施やセミナー、シンポジウムの開催など、さまざまな国際交流活動を積極的に行っている。

こうした取り組みにより、世界有数の研究機関と長期的なパートナシップを築いて研究の質を高めるとともに、NIIの研究成果も共有している。

NIIはMOUの締結だけでなく、研究成果の国際的な発信をはじめ、研究者や学生の積極的な国際交流の推進や国際連携による情報学研究拠点の形成など、情報学分野での国際貢献に取り組んでいる。

世界トップクラスの研究者を集めて、合宿形式で情報学分野の課題を集中的に議論する「NII湘南会議」も開催している。2011年2月にスタートした「NII湘南会議」は、昨年10月30日～11月2日に、通算100回目のセミナーを開催した。

NIIは日本で唯一の情報学の学術総合研究所として、今後も多様な取り組みを通し、情報学分野での国際交流促進に貢献していくとしている。

（注1）MOU締結先＝締結先の詳細はNII公式サイトの「国際交流協定（MOU）の締結状況」のページ参照。

（注2）NII国際インターンシッププログラム＝2016年度はMOUを締結している20カ国の45機関から119人を受け入れている。

（注3）MOU Grant＝2016年度は5カ国の5機関に5人を派遣し、12カ国・地域の23機関から28人を招へい。

AI活用　社内外で推進

＜電　通＞

プロジェクトチーム「AI MIRAI」設置

㈱電通（本社：東京都港区、社長：山本敏博氏）は、社内の各プロジェクトで開発・運用されている最先端の人工知能（AI）のノウハウと、これまで培ってきた社外とのネットワークを結集し、未来のビジネスに不可欠な要素であるAIの活用を社内外で推進する統括プロジェクトチーム「AI MIRAI」（エーアイ・ミライ）を発足させた。

同チームは、クリエーティブ・メディア・情報システム・働き方改革などでAIを活用している社内40名以上のエキスパートで構成されている。

電通ではこれまでもテレビ視聴率予測システム「SHAREST」（シェアレスト、注1）やAIコピーライター「AICO」（アイコ、注2）など、同社ならではの知見やデータ、プランニング力をプラスしたAI開発を進めてきた。すでに20件以上のAI関連プロジェクトを個別に進行し、現場での活用も浸透してきたのを機に、シナジーを最大化すべく統括プロジェクトチームを設置した。

Dentsu AIプロジェクト
AI MIRAI

具体的には、AIを活用した高度なマーケティングサービスを提供する「AI MIRAI Marketing」、生産性向上、ワークスタイル変革を支援する「AI MIRAI Workstyle」、各パートナー企業と協業して新規ビジネス開発を推進する「AI MIRAI Business」と、当初は3つの領域でサービス・ソリューションを開発していく。

なお1月16日、同社はAIによる手書き文字認識の特許を持つAI inside㈱（本社：東京都渋谷区、代表取締役：渡久地択氏）と業務提携を締結し、デジタルトランスフォーメーションおよびマーケティング活用においての協業に合意した。

今後両社は、AI領域における共同研究開発を推進し、次世代の高度なマーケティング、業務効率化、ビジネス開発を顧客企業に提供していく。

また電通はスマートスピーカーを活用した「声優タイマー」サービスの提供を文化放送と共同で開始した。ラジオ放送局とのスマートスピーカーサービス共同開発の第1弾となる。

（注1）テレビ視聴率予測システム「SHAREST」＝URL http://www.dentsu.co.jp/news/release/2017/0616-009318.html

（注2）AIコピーライター「AICO」＝URL http://www.dentsu.co.jp/news/release/2017/0517-009291.html

【AI inside社の会社概要】
社名＝AI inside㈱、URL https://inside.ai
本社＝東京都渋谷区渋谷3―8―12、渋谷第一生命ビルディング4階
代表者＝代表取締役：渡久地択氏
設立＝2015年8月3日
資本金＝7億2700万円（資本準備金含む）
事業内容＝ソフトウェア開発・人工知能事業

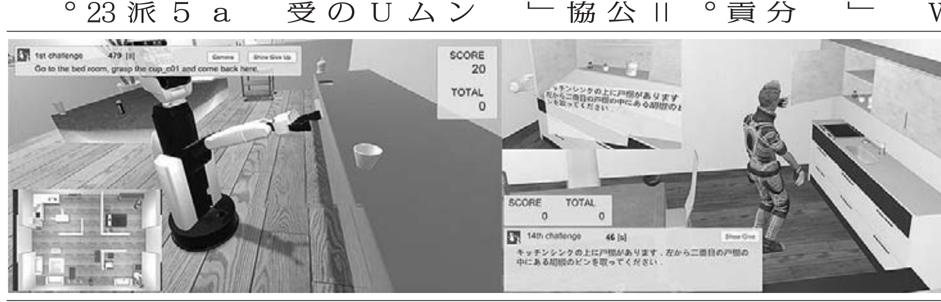
NII

「SIGVerse」を国際ロボット大会で活用

人間とロボット　相互作用を検証

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所（以下・NII）情報学プリンシプル研究系准教授：稲邑哲也氏の研究グループが開発したロボット環境シミュレーター「SIGVerse」＝写真＝が経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が主催する国際的なロボットの大会「World Robot Summit(WRS)」で実施されるロボット競技会で、シミュレーターとして活用されることになった。

SIGVerse（注1）は、実機ではなく仮想現実空間のロボットを使って、人間とロボットの相互作用（インタラクション）によりタスクを達成するための知能ロボットシステムの実験や評価を行うシミュレーター。このシステムの特徴は、従来のロボットシミュレーターでは難しかった人間と仮想ロボットのインタラクションを可能にした点だ。


1st challenge
Go to the bed room, grasp the cup_c01 and come back here.
SCORE 20
TOTAL 0
SCORE TOTAL 0 0
14th challenge
キッチンシンクの上に戸棚があります．左から二番目の戸棚の中にある胡椒のビンを取ってください．

SIGVerseはVRアプリケーション作成のためのプラットフォーム「Unity」（注2）と知能ロボットのソフトウェア開発環境（ミドルウェア）の「ROS」（Robot Operating System）を統合し、リアルタイム通信を実現している。

これによりSIGVerseでは人間がヘッドマウントディスプレーなどを装着して仮想空間上のアバターにログインし、身振り手振りや音声対話をすることで仮想ロボットと身体的、社会的なインタラクションを行うことができる。

WRSは経済産業省とNEDOが主催し、世界のロボット関係者が一堂に会して日々の生活や社会、産業分野でのロボットの社会実装と研究開発を加速させることを目的にしている。WRSのプログラムには、SIGVerseがシミュレーターとして活用されるロボット競技会「World Robot Challenge」と最新のロボット技術の展示会「World Robot Expo」があり、プレ大会が今年10月17日～21日に東京ビッグサイトで、本大会が2020年10月に愛知県国際展示場（一部競技は2020年8月に福島ロボットテストフィールド）で開催される。

World Robot Challengeでは、人間の生活を支援するロボット技術の向上と情報交換を行いながら、ロボットの社会実装による暮らしや社会の変化の可能性を探る。競技は「ものづくり」「サービス」「インフラ・災害対応」「ジュニア」の4カテゴリーで行われ、SIGVerseは「サービスカテゴリー」の「パートナーロボットチャレンジ（バーチャルスペース）」の基盤システムとして活用される。

人間と仮想ロボットがリアルタイムにインタラクションを行いながらタスクを実行する競技会の開催は世界でも初の試みで、競技を通じて知能ロボットの機能開発や性能評価が加速されることが期待されている。

DIC

有機顔料を価格改定

2月1日納入分から

DIC㈱（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野薫氏）は、今年2月1日納入分より有機顔料の価格改定を実施することを決定した。

昨今、中国の環境規制強化による化学品の供給量減少や需要増加等による需給バランスの逼迫化を受け、有機顔料の主原料価格が高騰し、燃料価格上昇によるユーティリティー等のコスト上昇も継続している。

DICでは、これ以上のコスト上昇を自社内で吸収することが極めて困難な状況にあり、今後の安定供給と事業継続を図るために価格改定が避けられないと判断し、値上げを決定した。

【価格改定幅】
アゾ顔料＝100～150円／㌔▼キナクリドン顔料＝200円／㌔▼ジオキサジン顔料＝500円／㌔

MGK MEIWA RUBBER CO.,LTD
先進性とクオリティー
ECO対応高速印刷ゴムローラ
ゴムローラ総合メーカー
明和ゴム工業株式会社
http://www.meiwa-rubber.co.jp